

Management Innovation Basic 経営革新の基礎コース

自らを変革の担い手として、組織変革プロセスの
基本を知り、自らに気づき始める。

■この研修プログラムのねらい■

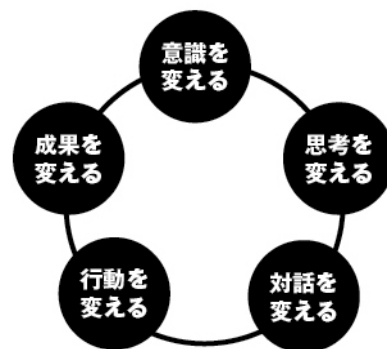
経営（組織）革新は、「自己変革×認識変革」という公式で考えることができます。「自己変革」は業界常識や慣習から抜け出し、独自の発想をしようとする事です。

また、「認識変革」は、単に日々の業務をルーティンとして繰り返す常態をそのまま管理することから脱して、変革と組織能力づくりを日々思考することです。簡単にいえば「自分を変えることを通じて、組織を変えていく」のです。

このコースは、個人能力というよりも、組織能力を変革するためにはどのように考え、話し合い、行動するかを目的としたものです。

また、このコースは充実したテキスト*と参加しやすい1日セミナーの組み合わせを特徴としています。テキストは研修中にも扱いますが、むしろ受講後に読み込み、実践で活用いただきたいものです。

* 150以上の参考文献をもとに練り上げられたA5版400ページ超の充実した専用テキストです。



「経営革新の基礎コース」1日間

- 会場：三重県勤労者福祉会館 6F 講堂
- 講師：経営品質協議会 インストラクター
- 定員：42名
- 参加費用（教材費・昼食費を含みます。）

三重県経営品質協議会会員	47,250円
生産性本部賛助会員	52,500円
一般	57,750円
- 2009年度開催日程

第1回 7月21日（火）10:00～17:30
- * お申込人数が10名に満たない場合、開催を中止させていただきます。ご迷惑がございましたらあらかじめご了承ください。

プログラム（予定）

経営を規範～戦略～管理～業務～作業ととらえたとき、それぞれの次元での変革とはどのようなものかを理解します。また、変革ということ意識～思考～対話～行動～成果の5層でとらえ、それぞれの変革を考えていきます。

10:00	▼	■ 変革と変革者
17:30		■ 変革のパラダイム
1	日 間	■ 変革者のための気づき
間		■ 気づきを深める
■		■ 経営革新のプロセス
		意識～思考～対話～行動～成果の変革

～経営革新の基礎コース 教材より～

経営革新は、MBAホルダーや組織内のエリートだけが行うことではありません。考えたり、話し合ったりして変革を実際に進めていくのは、むしろ現場で働いているごく普通の人々です。この普通の人々が変革のスキルを共有化しなければ、経営革新は実現されません。本物の経営革新というのは、組織メンバーがそれぞれ自らに気づき、自己を変革してゆくことから始まるものです。一部の人だけがいくら勉強しても、組織は変革しないのです。

ピーター・ドラッカーは「マネジメント（経営）を発明した人」と言われます。1950年代半ばに名著「現代の経営」をドラッカーが書いた当時、経営について解説した書物は事実上存在していませんでした。この本を書く気になった理由について、ドラッカーは「会社で働くマネジャーたちに、仕事をするうえで、責任を果たすうえで知っておかねばならないことを“すべて”伝えたかった」と言っています。こうしてドラッカーは、「経営」を学習できる知識体系に変えたのです。

「経営革新の基礎」という短時間の参加しやすいセミナーとテキストの組合せは、このドラッカーの考え方に基づいています。MBAを目指す人や、エリートだけではなく、あらゆる組織で働くすべての人々に、経営革新についての理解と洞察を深めていただき、誰もが変革者になっていただくことを目的としています。



経営革新の基礎コース
テキスト全416ページ